



# りんご生産情報（8月号）

令和3年8月19日  
JAつがる弘前  
弘前北地区営農係

**つがるの着色期は高温になることが予想されます。高温下では葉摘みを最小限として、つる回しを中心とした着色管理を行うようにしましょう！**

## 《肥大状況》

各品種とも平年並みから平年を上回る状況です。

(8月1日現在)

地点	つがる		ジョナ		王林		ふじ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
新和	7.3	7.1	7.2	6.9	6.4	6.3	6.2	6.1
鬼沢	7.3		6.7		6.3		6.2	
三和	7.3		7.4		6.7		6.5	
十腰内	6.8		6.7		6.0		6.0	
農協平均	7.3		7.0		6.4		6.3	
りんご研	7.4	7.1	-	-	-	-	6.5	6.2

## 《早生種の着色管理》

葉摘み作業は、葉柄が小さい葉を2~3枚摘み取る程度の弱い葉摘みとし、つる回し中心の着色管理としましょう。高温条件下での強い葉摘みは、日焼けや着色遅れの原因になるので注意しましょう。

## 《見直し摘果》

中・晩生種については、再度着果量の見直しを行いましょう。

特に、肥大のバラつく「トキ」や、まもなく着色管理を行う「ひろさきふじ」は最後の見直しを急ぎましょう。

また、「サンふじ」「葉とらずふじ」についても随時、着果量を見直しましょう。



## 《薬剤散布》

前回との散布間隔が開きすぎないように注意しましょう。

薬剤散布も残りわずかとなりましたが、最後まで事故の無いよう気をつけましょう。

回数	散布時期 (散布日)	薬剤名及び混合順序 (収穫前日数)	倍数	1,000㎡ 当り薬量	防除上の注意
12	8月末 (8月31日)	サムコルフロアブル(前日) アリエッティC水和剤(前日)	5,000倍 800倍	200ml×1本 1.25kg×1袋	ダニの発生が見られる場合は、コロマイト乳剤1,000倍(前日)、またはオマイト水和剤750倍(3日)を加用しましょう。
特別 散布	9月中旬 (9月15日)	ベフラン液剤(前日)又は ストライド顆粒水和剤(前日)又は オーソサイド水和剤(前日)	1,500倍 1,500倍 800倍	667ml 333g×2袋 1.25kg×1袋	すす病および黒星病防除のため、 <u>いずれかを散布してください。</u>

## 《中生種の着色管理》

中生種のひろさきふじでは、9月5日頃(平年)を目安に葉摘みを始め、支柱入れなどをこまめに行いましょう。

有袋ジョナは、最低気温が15℃を下回る9月13日頃(平年)を目安に除袋を始め、果実の着色を確認してから葉摘みを行いましょう。除袋前の強い葉摘みは品質低下の原因となります。

## 《りんご取扱いについて》

◆早生種山選果基準説明会の開催について

月 日	時 間	場 所
8月27日(金)	午前11時	三和冷蔵庫・鬼沢冷蔵庫 十腰内冷蔵庫・弘前北支店



**りんご栽培履歴は9月1日(水)までに支店窓口へ提出をお願いいたします。**